

## 令和5年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立道塚小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・授業の中で文章を聞き、何を言っているか推測する活動を行った。また、同じ文章を繰り返し聞かせ、声に出させたことで表現の定着が見られた。
- ・英語を使ったゲームや会話練習の時間を取り入れ、英語に慣れ親しむ態度を育てたり英単語の定着を図ったりした。

#### (2) 課題

- ・1単位時間の中に書く活動を取り入れ、アルファベットや英単語を書くことへの抵抗をなくすこと。
- ・前単元で習得した言葉や表現を、次の単元でも生かすこと。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第6学年	全体の平均正答率は、目標値を上回った。	全体の平均正答率は、目標値を上回ったが、昨年度の校内平均より下回った。	全体の平均正答率は目標値を上回った。

#### (2) 分析（観点別）

6年生（本年度）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回り、知識・技能の定着が認められると言える。数や食べ物、スポーツなど英単語はよく身に付いている。	目標値を下回った。単語を書き写すことも含め、英語で文章を書くこと（英作文）に抵抗感があるようである。無回答の割合の大きい問題もあった。	目標値を大きく下回っている。外国語を話すことに興味や必要性を感じていないと考えられる。

#### 2 授業改善のポイント（観点別）

6年生（本年度）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・授業でよく扱われる英単語や表現については定着が見られるので継続する。大文字小文字の判別などアルファベットも時々扱うことが必要である。前時までの復習を大切にし、同じ文章を何度も聞かせ、声に出させる。	・英単語や英作文など、記述することが苦手な児童が見られるため、毎回の授業で書く活動を行い、書くことに慣れていく。発表など自分で書いたものを話す学習にもつなげる。	・英語を使ったゲームや活動を多く取り入れ、英語に慣れ親しむ態度を育てる。 ・異文化理解にも努め、英語を話すことへの興味や必要感をもたせるようにする。